

八代亜紀さんと佐谷幹蔵さんについて

横浜南支部 岩崎 陽三

歌手の八代亜紀さんが惜しまれて73歳で亡くなられました。昭和55年（1980年）のレコード大賞は八代亜紀さんの「雨の慕情」でした。

当時、所属のテイチクは、ビクターの関係会社であり、ビクターから佐谷幹蔵さんが専務として出向しておりました。

佐谷幹蔵さんは、ビクターで品管長、レコード工場長、ラ録事業部長、ビデオ事業部長、渉外部長、役員を歴任されました。

大接戦で**五木ひろし**さんを破り、大賞を受賞しました。陰には会社代表として壇上に介添え役を務めた佐谷さんのお力が絶大でありました。これを契機に、大歌手に這い上がった八代亜紀さんにとっては、佐谷さんは大恩人と思っていたでしょう。

佐谷幹蔵さんは99歳の白寿迄1月前に亡くなられましたが、小生が90歳になられた佐谷幹蔵さんを油壺の老人ホームにお訪ねた際にしみじみと当時の頃をお話されていたのが印象的でした。



レコード大賞の八代亜紀さんと後方に佐谷幹蔵さん



喜ぶ八代亜紀さんと佐谷幹蔵さん



前年大賞のジュディ・オングさんより花束をもらう八代亜紀さん。ご満悦の佐谷幹蔵さん